



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス
コード番号 3058 URL <https://ir.sanyodo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長 (氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434
定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年6月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	16,605	△4.0	123	46.6	168	23.7	177	-
2024年3月期	17,297	△2.8	84	-	136	-	△46	-

(注) 包括利益 2025年3月期 201百万円 (-%) 2024年3月期 14百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	24.41	-	6.5	1.4	0.7
2024年3月期	△6.38	-	△1.8	1.1	0.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	12,410	2,820	22.7	387.26
2024年3月期	12,485	2,619	21.0	359.60

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,820百万円 2024年3月期 2,619百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	41	△137	64	2,415
2024年3月期	342	△122	△501	2,446

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2026年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	△0.6	30	△75.7	60	△64.4	120	△32.5	16.48

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期	7,400,000株	2024年3月期	7,400,000株
2025年3月期	116,606株	2024年3月期	116,606株
2025年3月期	7,283,394株	2024年3月期	7,283,394株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(注) 1株当たり当期純利益 (連結) の算定の基礎となる株式数については、添付資料13ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	1,952	△2.7	74	9.4	110	△21.8	130	—
2024年3月期	2,007	△3.7	67	223.9	140	—	△39	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	17.93	—
2024年3月期	△5.38	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2025年3月期	6,304	2,746	2,746	2,577	43.6	377.07	377.07	
2024年3月期	6,137	2,577	2,577	2,577	42.0	353.90	353.90	

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,746百万円 2024年3月期 2,577百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。また、当社グループは、2025年5月27日 (火) にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、経済活動の活性化が進む一方で、為替相場の急激な変動や不安定な海外情勢等の影響に加え、物価上昇の影響も見られ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受けるとともに、人件費や非現金決済手数料などの各種コスト負担が増加しております。このような経営環境のもと、当社グループは新本と古本を併売するハイブリッド型書店を核として、顧客のニーズの変化にあわせて様々な販売・サービス部門を積極的に導入するとともに、スマート無人営業やスマートフォンを活用したサービスを提供する「スマート・ブックバラエティストア」業態の展開を進めております。

当連結会計年度においては、4月に星川店（三重県桑名市）、5月に長浜店（滋賀県長浜市）、7月に近江八幡店（滋賀県近江八幡市）にデュエルスペースを備えた大型トレカショップ「トレカ館」をオープンした一方で1店舗を閉店したことから、トレカ館導入店舗は25店舗となりました。また、中古ホビーを扱う「駿河屋」は、11月に名古屋新開橋店（名古屋市瑞穂区）、3月に奈良大安寺店（奈良県奈良市）をオープンし、駿河屋導入店舗は5店舗となりました。

さらに、プラモデル売場の導入拡大を14店舗で実施し、プラモデル導入店舗は35店舗となりました。

一方で5店舗を閉店したことから、当連結会計年度末時点での店舗数は、68店舗2校となりました。

オペレーション面では、顔認証入店による「スマート無人営業」の導入を推進しました。「スマート無人営業」を含む24時間営業を9店舗、自動閉店や自動開店による営業時間延長を4店舗で開始し、スマート無人営業店舗は14店舗となりました。

主要な部門の売上高は、書店部門91億1百万円、トレカ部門20億35百万円、文具・雑貨・食品部門15億37百万円、セルAV部門5億73百万円、古本部門5億31百万円、TVゲーム部門3億79百万円、レンタル部門8億21百万円、新規事業部門12億94百万円、サービス販売部門3億28百万円となりました。

増収部門としては、トレカ部門が10.7%増、新規事業部門が26.7%増、サービス販売部門が5.5%増となりました。

減収部門としては、書店部門が6.9%減、文具・雑貨・食品部門が3.6%減、セルAV部門が15.6%減、古本部門が10.8%減、TVゲーム部門が20.6%減、レンタル部門が17.7%減となるなど、大変厳しい状況となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高166億5百万円（前連結会計年度比4.0%減）、営業利益1億23百万円（同46.6%増）、経常利益1億68百万円（同23.7%増）となり、一部の店舗で減損損失を50百万円計上したことや、法人税等調整額を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は1億77百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失46百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は124億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。これは主に、商品の減少などにより流動資産が42百万円減少し、一部の店舗で減損を行ったことなどから固定資産が32百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては95億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が減少したことなどにより流動負債が2億52百万円減少し、繰延税金負債の減少などにより固定負債が25百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては28億20百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益1億77百万円の計上などにより前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、期首時点に比べ30百万円減少し、当連結会計年度末には24億15百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は41百万円(前連結会計年度は3億42百万円の獲得)となりました。これは主に売上債権の増加が35百万円、仕入債務の減少が2億91百万円あった一方で、税金等調整前当期純利益1億25百万円、減価償却費1億91百万円及び減損損失50百万円を計上し、棚卸資産の減少が47百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億37百万円(前連結会計年度は1億22百万円の使用)となりました。これは主に差入保証金の回収による収入53百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出が1億27百万円、無形固定資産の取得による支出が5百万円、差入保証金の差入による支出が14百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は64百万円(前連結会計年度は5億1百万円の使用)となりました。これは長期借入金の返済による支出が4億85百万円あった一方で、長期借入れによる収入が5億50百万円あったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 (%)	22.9	22.9	20.1	21.0	22.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	45.3	50.3	48.1	42.2	40.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	2.2	—	—	7.8	65.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	78.6	—	—	19.7	2.0

(注) 自己資本比率

: 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率

: 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上している負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
3. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上している「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。
4. 2022年3月期及び2023年3月期については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオを記載しておりません。

（4）今後の見通し

当社グループが関わる、書籍・雑誌やDVD・CDなどの販売・レンタル市場は、電子書籍・映像音楽配信サービスの拡大、ネット通販やスマートフォン閲覧などの影響により、リアル店舗の販売比率は長期にわたり減少しております。

このような経営環境のもと、当社グループは顧客のニーズの変化にあわせて、トレカ部門の拡大や駿河屋・ビューッフェなどの新規事業導入を推進し、今期トレカ部門は部門別売上高第2位、新規事業は第4位となるなど、いずれも大きく成長しております。また、スマート無人営業店舗の拡大も、既存事業の増収に寄与しております。

しかしながら、これらの部門の成長が、既存部門の減収を完全に補うまでには至っていないことから、引き続きトレカ部門の拡大、新規事業の開発・導入に取り組むとともに、スマート無人営業店舗の拡大を進めてまいります。

運営面では、これまでスマート無人営業導入に際し有人時間帯を短縮することなく維持してまいりましたが、今後は人件費高騰への対応策として、有人時間帯を見直し運営効率の向上を図ってまいります。

また、セルフ受取やセルフ取置をはじめとする店舗のスマートサービスの認知向上を図るとともに、SNSや自社Webサイトを活用したWebマーケティングにも引き続き注力してまいります。

次期の見通しにつきましては、トレカ館と駿河屋の売上高の伸長を予想しているものの、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しいことから、売上高165億円、営業利益30百万円、経常利益60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億200百万円と見込んでおります。また、見通しが変更となった段階で、改めて次期の見通しを発表する予定であります。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、長期的な事業の拡大と経営基盤の確立を目指すため、キャッシュ・フローを重視したローコスト経営を推進し収益力の向上に努めるとともに、今後の事業展開に備えて財務体質の強化を図りながら、株主の皆様への利益還元を行うことを基本方針としております。

当社は、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当を行う旨を定款に定めており、剰余金の配当等の決定機関は、中間配当、期末配当ともに取締役会であります。

当連結会計年度におきましては、トレーディングカードや駿河屋、プラモデルなどの成長商材・成長フォーマットが着実に売上を伸ばしているものの、既存部門の減収を補いきれず、当社グループ全体では減収となりました。既存事業のマーケット縮小や人件費高騰が続く状況を踏まえ、当期の配当につきましては、成長事業拡大や無人営業などの抜本的な生産性向上のための設備投資資金の確保を優先することが長期的な株主利益に繋がるとの判断から、無配を継続させていただきます。

内部留保資金につきましては、引き続き事業展開のための設備投資等に活用してまいります。

また、次期の配当につきましても、成長事業への投資資金の確保を優先するため、中間、期末ともに無配とさせていただきます。収益力の回復を優先しつつ、事業環境や利益水準を慎重に見極め、株主還元について引き続き検討してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,334,034	2,365,078
売掛金	431,225	467,014
商品	5,480,367	5,436,907
その他	271,237	205,199
流動資産合計	8,516,864	8,474,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,835,960	5,756,056
減価償却累計額	△5,469,945	△5,438,050
建物及び構築物 (純額)	366,015	318,005
土地	2,082,910	2,082,910
建設仮勘定	5,876	6,545
その他	2,828,473	2,787,408
減価償却累計額	△2,666,018	△2,637,249
その他 (純額)	162,454	150,159
有形固定資産合計	2,617,257	2,557,620
無形固定資産	106,297	86,245
投資その他の資産		
投資有価証券	280,735	340,043
差入保証金	933,624	900,469
退職給付に係る資産	5,846	12,415
その他	24,886	39,028
投資その他の資産合計	1,245,092	1,291,957
固定資産合計	3,968,647	3,935,823
資産合計	12,485,512	12,410,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,477,709	5,192,097
電子記録債務	145,239	139,067
短期借入金	190,000	190,000
1年内返済予定の長期借入金	459,956	516,410
未払法人税等	9,484	9,107
契約負債	45,609	37,236
賞与引当金	39,917	41,976
ポイント引当金	17,901	10,163
資産除去債務	24,341	15,450
その他	367,501	374,086
流動負債合計	6,777,660	6,525,595
固定負債		
長期借入金	2,013,848	2,022,264
退職給付に係る負債	251,530	252,651
資産除去債務	641,524	632,416
繰延税金負債	71,801	31,090
その他	110,048	125,133
固定負債合計	3,088,753	3,063,556
負債合計	9,866,414	9,589,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,025,163	2,441,421
利益剰余金	△603,235	158,327
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	2,421,407	2,599,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,924	175,075
退職給付に係る調整累計額	60,766	46,262
その他の包括利益累計額合計	197,690	221,338
非支配株主持分	—	303
純資産合計	2,619,098	2,820,871
負債純資産合計	12,485,512	12,410,023

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	17,297,407	16,605,085
売上原価	11,858,284	11,263,268
売上総利益	5,439,122	5,341,816
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	4,413	△2,404
給料及び手当	2,107,147	2,055,977
賞与引当金繰入額	39,917	41,976
退職給付費用	17,440	5,861
減価償却費	212,520	189,945
地代家賃	1,026,350	975,440
その他	1,947,022	1,951,387
販売費及び一般管理費合計	5,354,811	5,218,185
営業利益	84,311	123,631
営業外収益		
受取利息	869	963
受取配当金	6,565	8,213
受取賃貸料	6,478	8,480
受取負担金	13,841	—
受取保険金	1,887	11,511
受取弁済金	2,881	7,158
リサイクル収入	14,683	12,816
消費税等免除益	10,975	—
その他	12,285	18,033
営業外収益合計	70,467	67,177
営業外費用		
支払利息	17,627	21,044
その他	783	1,105
営業外費用合計	18,411	22,150
経常利益	136,367	168,659
特別利益		
固定資産売却益	3,299	400
投資有価証券売却益	2,267	2,166
受取補償金	—	8,031
事業譲渡益	6,100	—
特別利益合計	11,667	10,597
特別損失		
固定資産除却損	417	3,612
減損損失	176,634	50,312
その他	8,020	—
特別損失合計	185,071	53,924
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△37,036	125,332
法人税、住民税及び事業税	9,463	9,133
法人税等調整額	—	△61,925
法人税等合計	9,463	△52,792
当期純利益又は当期純損失(△)	△46,500	178,124
非支配株主に帰属する当期純利益	—	303
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△46,500	177,821

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△46,500	178,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,014	38,151
退職給付に係る調整額	21,600	△14,503
その他の包括利益合計	60,615	23,648
包括利益	14,115	201,772
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	14,115	201,469
非支配株主に係る包括利益	—	303

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,025,163	△556,735	△100,520	2,467,907
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△46,500		△46,500
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△46,500	—	△46,500
当期末残高	100,000	3,025,163	△603,235	△100,520	2,421,407

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	97,909	39,165	137,075	2,604,983
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)				△46,500
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	39,014	21,600	60,615	60,615
当期変動額合計	39,014	21,600	60,615	14,115
当期末残高	136,924	60,766	197,690	2,619,098

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	3,025,163	△603,235	△100,520	2,421,407
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			177,821		177,821
欠損填補		△583,741	583,741		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△583,741	761,562	—	177,821
当期末残高	100,000	2,441,421	158,327	△100,520	2,599,229

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	136,924	60,766	197,690	—	2,619,098
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					177,821
欠損填補					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	38,151	△14,503	23,648	303	23,951
当期変動額合計	38,151	△14,503	23,648	303	201,772
当期末残高	175,075	46,262	221,338	303	2,820,871

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△37,036	125,332
減価償却費	220,743	191,173
減損損失	176,634	50,312
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,039	△7,737
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△857	△11,891
受取利息及び受取配当金	△7,434	△9,176
支払利息	17,627	21,044
固定資産売却損益(△は益)	△3,299	△400
固定資産除却損	417	3,612
売上債権の増減額(△は増加)	△53,215	△35,788
棚卸資産の増減額(△は増加)	37,307	47,551
仕入債務の増減額(△は減少)	26,608	△291,784
契約負債の増減額(△は減少)	△12,113	△8,373
その他	1,065	△9,945
小計	364,406	63,928
利息及び配当金の受取額	6,569	8,450
利息の支払額	△17,404	△20,708
法人税等の支払額	△11,179	△9,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	342,391	41,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△128,412	△127,691
有形固定資産の売却による収入	3,344	400
無形固定資産の取得による支出	△11,829	△5,520
差入保証金の差入による支出	△11,505	△14,723
差入保証金の回収による収入	45,200	53,418
その他	△19,654	△43,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,856	△137,390
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△210,000	—
長期借入れによる収入	170,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△461,504	△485,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△501,504	64,870
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△281,969	△30,623
現金及び現金同等物の期首残高	2,728,455	2,446,486
現金及び現金同等物の期末残高	2,446,486	2,415,863

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高について、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高はなく、該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高について、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高はなく、該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	359.60円	387.26円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△6.38円	24.41円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	2,619,098	2,820,871
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	303
(うち非支配株主持分 (千円))	(—)	(303)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	2,619,098	2,820,567
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	7,283	7,283

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△46,500	177,821
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△46,500	177,821
期中平均株式数 (千株)	7,283	7,283

(重要な後発事象)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、当社が保有する株式会社プロトコーポレーションの普通株式95,900株について、株式会社フォーサイトが実施する株式会社プロトコーポレーションの普通株式に対する公開買付け(以下、「本公開買付け」といいます。)に応募することを決議いたしました。本公開買付けは2025年4月4日に終了し、当社の応募株式の全てが買付けられることとなりました。

当該事象により、2026年3月期の個別決算及び連結決算において、投資有価証券売却益180,976千円を特別利益として計上いたします。